

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 糸ぐるま 伊勢崎第2教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ～ 2026年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年12月8日 ～ 2025年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人に合わせた療育支援を検討し、一人一人に合った支援をしている。	保護者や本人、関係機関との情報共有を行っている。職員間で情報共有や内容についての検討を常に行っている。	支援内容についての理解や検証について、研修を通じてさらに深めていきたい。
2	プログラムが固定化されないようにしている。	毎月活動内容の検討・変更を行っている。	子どもがより楽しめる活動内容を取り入れていく。
3	保護者との連絡・相談等、迅速に対応している。	いつでも、どんな内容でも連絡や対応することを伝えていく。	連絡等でできていない方もいると思うので、定期的に面談など予定を検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など、保護者の参加や交流の場がない。	コロナ後再開せずに、そのままになってしまっている。	以前のようにイベント・行事において、保護者参加の検討やペアレントトレーニング等、保護者が集まる機会を検討する。
2	他施設や地域との交流の機会がない。	交流する機会を検討していない。	交流対象や内容について計画・検討し、協力が得られるように働きかけていきたい。
3	ホームページでの情報発信について周知されていない。	ホームページの宣伝ができていない。	配布物にホームページ情報の掲載。ホームページの活用方法の検討。